

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 4 月 15 日 (2021.4.15)

【公開番号】特開 2019-109929 (P2019-109929A)
 【公開日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-026
 【出願番号】特願 2019-39306 (P2019-39306)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

H 0 4 L 12/58 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 13/00 6 1 0 Q

H 0 4 L 12/58 1 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 19 日 (2021.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータを、

休暇期間に受信した電子メールのうち、所定の条件を満たす電子メールを特定する特定手段と、

前記特定手段によって特定された電子メールの中継を制御する制御手段と、

して機能させるためのプログラム。

【請求項 2】

前記特定手段を、休暇期間に受信した電子メールのうち、アクセス先が記載された電子メールを特定する手段として機能させるための請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 3】

前記特定手段を、電子メールが未読である状態が所定期間を経過した場合に、受信した電子メールのうち、所定の条件を満たす電子メールを特定する手段として機能させるための請求項 1 または 2 に記載のプログラム。

【請求項 4】

前記特定手段を、前記休暇期間を経過してから前記特定処理を行う手段として機能させるための請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 5】

前記コンピュータを、さらに、

アクセスを中継する中継装置へアクセス先の情報を登録するため、前記特定手段により特定した電子メールに記載されたアクセス先の情報を取得する取得手段として機能させるための請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 6】

休暇期間に受信した電子メールのうち、所定の条件を満たす電子メールを特定する特定手段と、

前記特定手段によって特定した電子メールの中継を制御する制御手段と、

を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】

情報処理装置の特定手段が、休暇期間に受信した電子メールのうち、所定の条件を満たす電子メールを特定する特定ステップと、

前記情報処理装置の制御手段が、前記特定ステップによって特定した電子メールの中継を制御する制御ステップと、

を実行することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 8】

コンピュータを、

電子メールが未読である状態が所定期間を経過した場合に、受信した電子メールのうち、所定の条件を満たす電子メールを特定する特定手段と、

前記特定手段によって特定された電子メールの中継を制御する制御手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 9】

電子メールが未読である状態が所定期間を経過した場合に、受信した電子メールのうち、所定の条件を満たす電子メールを特定する特定手段と、

前記特定手段によって特定された電子メールの中継を制御する制御手段と、
を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 10】

情報処理装置の特定手段が、電子メールが未読である状態が所定期間を経過した場合に、受信した電子メールのうち、所定の条件を満たす電子メールを特定する特定ステップと、

前記情報処理装置の制御手段が、前記特定ステップによって特定された電子メールの中継を制御する制御ステップと、
を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項 11】

受信した電子メールの中継するメール中継装置とアクセスを中継するアクセス中継装置とが通信可能な情報処理システムであって、

前記メール中継装置は、
休暇期間に受信した電子メールのうち、所定の条件を満たす電子メールを特定する特定手段と、

前記特定手段により特定した電子メールに記載されたアクセス先の情報を取得する取得手段と、
を備え、

前記アクセス中継装置は、
前記取得手段によって取得したアクセス先の情報を記憶する記憶手段と、
前記記憶手段に記憶されたアクセス先の情報に基づいて、アクセスの中継を制御する制御手段と、

を備えたことを特徴とする情報処理システム。

【請求項 12】

受信した電子メールの中継するメール中継装置とアクセスを中継するアクセス中継装置とが通信可能な情報処理システムにおける情報処理方法であって、

前記メール中継装置の特定手段が、休暇期間に受信した電子メールのうち、所定の条件を満たす電子メールを特定する特定ステップと、

前記メール中継装置の取得手段が、前記特定ステップにより特定した電子メールに記載されたアクセス先の情報を取得する取得ステップと、

を実行し、

前記アクセス中継装置の記憶手段が、前記取得ステップによって取得したアクセス先の情報を記憶する記憶ステップと、

前記アクセス中継装置の制御手段が、前記記憶ステップにおいて記憶されたアクセス先の情報に基づいて、アクセスの中継を制御する制御ステップと、

を備えることを特徴とする情報処理方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

上記課題を解決するための本発明は、コンピュータを休暇期間に受信した電子メールのうち、所定の条件を満たす電子メールを特定する特定手段と、前記特定手段によって所定の条件を満たすと特定された電子メールの中継を制御する制御手段として機能させるためのプログラムであることを特徴とする。